

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 岡本 正友

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(口をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 平和教育推進の課題と地域事業及び社会体育の課題について

新型コロナウイルスが及ぼす地域社会への影響の課題2点について質す。

(1) 平和教育推進の課題について

本年は戦後75年の節目の年である。日本の平和と繁栄は、惨禍によって失われた多大な犠牲と、全国民が戦後復興のために、長年にわたり、血の滲むような努力の結果によって成し遂げられた。礎となった多くの尊い命が残した思いは、悲惨な戦争を繰り返さない戒めと恒久平和にあることは、語らずとも悟ることができる。この度コロナ禍で、令和2年度の戦没者追悼式が中止された。やむを得ない事情とはいえ、平和への思いをつなぐ遺族が高齢化により減少している最中での中断は、今後の語り継ぐ活動のさらなる後退が懸念される所である。

10月7日に浜田地区戦没者遺族連合会は、戦争の悲劇を伝える活動の苦悩と限界から“二度と戦争を起こさないための学校教育”を求める陳情がされている。広島平和記念資料館見学での平和学習は重要である。また、身近な地域史跡から史実を学ぶ事は、より未来の浜田市民の心に記録する意味深い平和学習であると考え以下質問をする。

- ① 明治維新以降の墓標や記念碑が市内には点在している。その認識と開府400年のくくりとしての歴史資料保全及び平和記念事業推進についての今後の対応を問う。
- ② 浜田地区戦没者遺族連合会からの陳情について所見を問う。

(2) 地域事業及び社会体育の課題について

新型コロナの影響から、盆踊りをはじめ町内集会など多くの地域事業が中止されている。また社会体育活動も全体的に自粛傾向にある。活動の後退を懸念することから、機構改革後の体制で補完できるか問うところである。

- ① 地域事業の中止等の現状認識と、解除・延伸の考え方を問う。

- ② 浜田市体育協会加盟団体の各種社会体育活動の現状認識と体制支援を問う。
- ③ 島根県は、2030年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会において天皇杯・皇后杯を目指すため、県、全市町村、競技団体、企業のすべての県民一体となったプロジェクトを立ち上げ、10月2日に準備委員会をスタートしている。西部の中核市である浜田市の担う役割は大変重要である。
その認識と大会優勝を果たすための選手強化及び運営体制整備について問う。

2 地域医療体制支援とコロナ禍における孤独死予防策について

新型コロナウイルスは、少子高齢化社会の市民生活に多大な不安と動揺を与えているが医療の関係機関には、市民の不安を払拭するための防疫と救急救命の安全安心な管理体制を望むことから以下質問をする。

(1) 地域医療体制と支援策について

- ① 新型コロナウイルス感染者受入れ施設は、浜田医療センターと認識する。県西部の中核にあるセンターの発熱外来体制を尋ねる。
- ② 県は新聞の生活情報BOXなどを使って、発熱時には、かかりつけ医に相談をする新しい検査・受診の流れと相談窓口を示して周知を図っている。かかりつけ医等の現状と、外来体制の取組と支援策を問う。
- ③ コロナ禍における浜田消防の救急救命患者の搬送時の対応を問う。

(2) ウィズコロナ時代の孤独死の予防策について

- ① コロナ禍の自死を含めた孤独死増加の報道については、当市においても絵空事ではないと思っている。今後進むウィズコロナ時代の孤独死の対策について問う。